

第11回 日本の次世代 リーダー養成塾

問い合わせ先: 日本の次世代リーダー養成塾

事務局長 加藤 暁子 (携帯: 090 - 1113 - 3914)

事務局員 相戸 和歌子

〒107-0062 東京都港区南青山5 - 12 - 28 - 403

Tel: 03 - 5466 - 0804 Fax: 03 - 5466 - 0842

塾期間中(7月25日～8月7日)の事務局連絡先は

福岡県宗像市グローバルアリーナのクラブハウス内

直通電話0940 - 35 - 7130 / 7131

FAX 0940 - 35 - 7132

Mail: info@leaderjuku.jp URL: http://leaderjuku.jp/

リーダー塾は今年アジア6カ国の高校生らを17名招待 アジア・ハイスクール・サミットで 「高校生が考えるアジアの未来」を2週間議論し 8月6日に提言発表します

「日本の次世代リーダー養成塾」は、一般社団法人日本経済団体連合会の榊原定征会長を塾長、榊原英資・青山学院大学教授を塾長代理に、日本だけでなく、世界に通用する人材育成を目指した高校生のための2週間のサマースクールです。経済界や地方自治体から日本の将来を背負って立つ人財の育成を目指し、2004年に開塾、今年は11回目を迎え、卒塾生は1800人を越える予定です。卒塾生たちは、日本や世界を舞台にそれぞれの夢を追いかけて活躍をしています。

【アジア6カ国から高校生らが参加】

今年の塾開催期間は7月25日(金)から8月7日(木)で、福岡県宗像市のグローバルアリーナと佐賀県戸畑少年自然の家で行います。参加者は、書類選考と面接で選ばれた全国23都道府県・3カ国から集う日本の高校生170人に加え、今年は「サニックス・アジア奨学生」として、6カ国(中国、インドネシア、マレーシア、モンゴル、タイ、韓国)の17名の高校生を中心とした学生を無償で招待し、2週間寝食を共にします。

【一流講師の講義・ディスカッション・民間企業の精鋭によるクラス担任制度】

塾では、日本や世界を代表する学者、経済人ら各界を代表する一流の講師が講義を行います。講師は、マレーシアのマハティール元首相、宗教学者の山折哲雄氏、特定非営利活動法人国境なき医師団日本会長の黒崎伸子氏、東西大学校総長の張済国氏、株式会社ぐるなび代表取締役会長の滝久雄氏、ヴァイオリンクター中澤宗幸氏ら、25人の講師が全国の高校生に将来の指針を与えます。

そして、講義を踏まえ、90分にわたってクラス別のグループディスカッションを行います。クラス担任は、協賛企業などから派遣された社会人が務めます。また、塾生を指導する大学生のボランティアは卒塾生らが務めます。ディスカッションを積み重ねることで、学問のおもしろさを追求するとともに、リーダーとして必要な多面的な思考力や分析力、決断力を養います。また、1部屋20人の2段ベッドによる共同生活を通して、自己管理能力を養います。

【アジア・ハイスクール・サミット2014】

塾の大きな取り組みの一つとして例年行っている「ハイスクール国会」を、今年はアジアからの高校生らを加え「アジア・ハイスクール・サミット」として行います。「高校生が考えるアジアの未来」というテーマで、将来のアジアを見据



え、高校生ならではの柔軟な発想で、今後アジアの国々がどのように協力して、よりよい世界をつくり上げていくかを議論します。

議論を深めるためにも、きちんと基礎知識を学んだ上で議論していくことが求められます。そこで塾生たちは、事前に各国の事情を学習し、アジアの国々についての考えを、身近な人たちにインタビューする課題に取り組みました。

塾期間中の「アジア・ハイスクール・サミット」では、まず日本を含めた各国の紹介を行い、その上で、現在のアジア域内がかかえる問題点を話し合うと共に、今後アジア地域が良好な関係を築いて行くためのアイデアを話し合い、競います。高校生レベルでもできることも考えていきます。

2週間の集大成となる発表は、8月6日(水)9:00~11:30で行います。

【8月5日(火)中澤宗幸氏と中澤きみ子氏による津波ヴァイオリン演奏・マハティール氏ご夫妻との合唱】

今回初めてご講義いただく中澤宗幸氏は、東日本大震災の被災者の方々への鎮魂の思いを込めて“TSUNAMI ヴァイオリン”を製作した世界的なヴァイオリンドクターです。

このヴァイオリンは被災地の流木から作られました。テレビで報道される積み上げられた流木は、家屋の床であったり、子供たちが背丈を刻んだ柱です。けっして「瓦礫やゴミの山」ではなく沢山の思い出の山に違いない、そんな思いで作られたヴァイオリンです。



「魂柱(こんちゅう)」と呼ばれる、ヴァイオリンの中にあって表板と裏板をつないでいる小さな柱には、奇跡の一本松が使われています。

中澤宗幸氏のご講義の後には、世界的ヴァイオリニストの中澤きみ子氏に、この津波ヴァイオリンで演奏していただきます。また、300歳のストラディバリウス「ダ・ヴィンチ」でも演奏いただきます。演奏会の最後には、マレーシアのマハティール元首相ご夫妻が感銘を受け、是非塾生と一緒に歌いたいとリクエストがあった復興支援ソング「花は咲く」を合唱します。

また、中澤宗幸氏、中澤きみ子氏、マハティール氏の講座は、宗像市の公開講座ともなっており、宗像市民も受講します。

8月5日(火)スケジュール

09:30~10:30 ヴァイオリンドクター 中澤宗幸氏ご講演

10:30~11:00 ヴァイオリニスト 中澤きみ子氏演奏会

11:00~11:45 マレーシア元首相マハティール氏ご夫妻と「花は咲く」を合唱

11:30~13:00 マレーシア元首相マハティール氏ご講演

【9月6日全国公開の映画「イン・ザ・ヒーロー」を全国で初めてリーダー塾で上映】

7月29日(火)に名護屋城博物館ホールにて、講師である李鳳宇先生がプロデュースし、今年の9月6日に全国公開される「イン・ザ・ヒーロー」を、全国で初めてリーダー塾で上映します。

今や日本の若手俳優の登竜門となった特撮ヒーロー。しかし彼らを影で支える、変身ヒーローや怪人・怪獣の「着ぐるみ」や「スーツ」に入って演じる「スーツアクター」の存在はあまり知られていません。彼らは観客に顔を知られることなく、肉体を酷使しながら作品に身を捧げる、アクション映画や特撮ヒーローものにはなくてはならない存在。そんな真のヒーローとも言える人たちに日本映画史上初めてスポットを当てたのが映画『イン・ザ・ヒーロー』です。

映画の後には、「エンターテインメントの裏側」という演題で、李先生にご講義いただきます。

取材にお越しの際は、必ず事前にお電話でご連絡ください。

【添付資料】

事業概要

講師・講義内容一覧

カリキュラム

アジア・ハイスクール・サミット

塾生概要

塾生高校一覧

サニックス・アジア奨学生概要

役員等名簿

第11回日本の次世代リーダー養成塾 事業概要

1. 主催者

日本の次世代リーダー養成塾

塾長：榊原定征 / 一般社団法人日本経済団体連合会会長

2. 開催日程

2014年7月25日(金)～8月7日(木)

3. 開催・宿泊施設

グローバルアリーナ(福岡県宗像市吉留46-1)

波戸岬少年自然の家(佐賀県唐津市鎮西町名護屋5581-1)

自然の家は7月28日(月)～7月30日(水)の2泊3日で宿泊

4. 塾生

対象：高校生(1年生～3年生)

人数：170名

- ・ 参画県(北海道・青森県・岩手県・静岡県・岐阜県・和歌山県・福岡県・佐賀県・福岡県宗像市・同県古賀市)推薦枠105名
- ・ 全国からの一般公募枠65名

上記に加え、サニックス・アジア奨学生として6カ国(中国、インドネシア、マレーシア、モンゴル、タイ、韓国)より無償で招待した高校生ら17名が参加

5. カリキュラム概要

各界を代表する講師陣による講義

- **教養系** (哲学、近現代経済・文明史、医学、科学、芸術など)
日本や世界を代表する講師が高校生に知的好奇心を湧かせる講義をします。
- **ビジネス系** (日本企業の強みと弱み、ビジネスのしくみなど)
世界を相手にビジネスの最先端で日夜活躍する講師が、日本の企業の強みや弱み、ひいては日本の国のあり方を伝えます。
- **国際系** (国際問題や外交、国連やNGO活動への理解)
世界に目を向け、日本人としてのアイデンティティを持ち、国際舞台で活躍できる力をつけます。
- **人間学** (将来の夢をどう具現化するか、リーダーとしての生き方など)
人生の先達が21世紀の日本を背負って立つ人材に必要なことは何かを語ります。

講義後のディスカッション

講義終了後にクラス担任の指導のもと、1クラス約27名によるグループディスカッションを行います。クラス担任は、日本を代表する企業の中堅社員が務めます。

プロジェクト型企画「アジア・ハイスクール・サミット」

アジアの未来を担う7カ国(中国、インドネシア、マレーシア、モンゴル、タイ、韓国、日本)の高校生たちが、2週間を通して次世代のよりよいアジアの関係構築に向けた議論を行い、具体案を提言する「アジア・ハイスクール・サミット」を開催します。

フィールドトリップ

- 佐賀県立名護屋城博物館
当時の貴重な資料や遺産を見学し、日本と朝鮮半島間の歴史を学びます。

第 1 1 回日本の次世代リーダー養成塾

講師・講義内容一覧

講師 25 名（敬称略、五十音順）*新規講師

1. あかし やすし
明石 康 / 元国連事務次長・公益財団法人国際文化会館理事長
「世界の中の日本 もっと外に開く国に」
2. あそう わたる
麻生 渡 / 前全国知事会会長・福岡空港ビルディング株式会社社長
「日本とアジア」
3. おがわ ひろし
小川 洋 / 福岡県知事
「アジアとともに発展する福岡県」
4. かさやかずひこ
笠谷和比古 / 国際日本文化研究センター教授
「18世紀東アジアの文化共同体」
5. かわかつへいた
川勝平太 / 静岡県知事
「日本の象徴 天皇と富士山 について」
6. くろさきのぶこ
黒崎伸子 / 特定非営利活動法人国境なき医師団日本会長
「海外の人道危機に対して - 私たちができること」
7. こてがわきょうじ
小手川強二 / フンドーキン醤油株式会社代表取締役社長
「発酵食品の魅力」
8. さかきばらえいすけ
榊原英資 / 青山学院大学教授
「君たちは何のために学ぶのか」
9. たき ひさお
滝 久雄 / 株式会社ぐるなび代表取締役会長・創業者
株式会社NK B取締役会長・創業者
「やらなければならないことは、やりたいことにしよう！」
10. たっそたくや
達増拓也* / 岩手県知事
「東日本大震災津波～災害対応と未来に追いつく復興」
11. たなか ひとし
田中 均 / 株式会社日本総合研究所国際戦略研究所理事長
「アジアの未来 - 外交のあり方」
12. ちゃん じゅごく
張 済国* / 東西大学校総長
「グローバルリーダーの条件」

13. 沈 壽官 / 薩摩焼十五代
「伝統を守り現代を表現する」
14. 中澤 宗幸 * / ヴァイオリンドクター
「ヴァイオリンの不思議 / 音楽の力」
15. 中澤 きみ子 * / ヴァイオリニスト
「300歳と3歳の響」
16. 中村 俊郎 / 中村プレイス株式会社代表取締役社長
「義肢装具作りの半生 『世界の途上国の人々を支えたい』」
17. 西川 恵 * / 毎日新聞社客員編集委員
「聞く力 聞き出す力」
18. 古川 康 / 佐賀県知事
「リーダーに求められるものは何か、カリフォルニアで考えてみる」
19. マハティール・モハマド / マレーシア元首相
「次世代リーダーはいかに世界に貢献できるか」
20. 室伏 きみ子 / お茶の水女子大学名誉教授
ヒューマンウェルフェアサイエンス研究教育寄附研究部門教授
「自分自身を知るための命の科学 40億歳の生物たち」
21. 安田 喜憲 / 立命館大学環太平洋文明研究センター長
「稲作漁撈文明」
22. 山折 哲雄 / 宗教学者
「挨拶の東西、マナ - の南北」
23. 山下 泰裕 / 東海大学理事・副学長
「夢への挑戦」
24. 李 鳳宇 / 映画プロデューサー・株式会社 RESPECT 代表取締役
「エンターテインメントの裏側」
25. 加藤 暁子 / 日本の次世代リーダー養成塾理事・事務局長
「ノブレス・オブリージュになれるか」

第11回 日本の次世代リーダー養成塾 カリキュラム表 (2014年7月25日~8月7日)

敬称略 2014/7/18

日	日	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00		
1	7/25 (金)									受付		入塾式	小川 洋	レポート	夕食	スタッフ・施設紹介	入浴		就業準備		
2	7/26 (土)		朝食・掃除		HR	加藤 暁子	レポート	オリエンテーション	昼食	ディスカッション ワークショップ	委員会	キャリア教育	チームビルディング	夕食	HR				就業準備	就業	
3	7/27 (日)		朝食・掃除		オリエンテーション	黒崎 伸子	レポート	明石 康	レポート	昼食	滝 久雄	レポート	ディスカッション		HR	夕食	アジア・ハイスクール・サミット		就業準備	就業	
4	7/28 (月)	佐賀	掃除片付け	荷物移動		移動・朝食		入所式	荷物移動	弁当 昼食	アジア・ハイスクール・サミット	ビデオ学習	15代沈壽官	レポート	夕食	HR	アジア・ハイスクール・サミット		就業準備	就業	
5	7/29 (火)	佐賀	朝のつどい	朝食・掃除	移動	映画 「イン・ザ・ヒーロー」				李 鳳宇	レポート	弁当 昼食	名護屋城博物館見学 学芸員さんのお話	移動	夕食	HR	アジア・ハイスクール・サミット		就業準備	就業	
6	7/30 (水)	佐賀	朝のつどい	朝食・掃除	荷物移動		古川 康	レポート	退所式	昼食		グローバルアリーナへ移動		荷物移動		HR	夕食	アジア・ハイスクール・サミット		就業準備	就業
7	7/31 (木)	担任交代	朝食・掃除		書禅	中間ディスカッション		田中 均	レポート	昼食	張 済国	レポート	ディスカッション		HR	夕食	アジア・ハイスクール・サミット		就業準備	就業	
8	8/1 (金)		朝食・掃除		書禅	キャリア教育	レポート	山下泰裕	レポート	昼食	山折哲雄	レポート	麻生 渡		HR	夕食	アジア・ハイスクール・サミット		就業準備	就業	
9	8/2 (土)		朝食・掃除		書禅	西川 恵	レポート	ディスカッション		昼食	笠谷和比古	レポート	ディスカッション		HR	夕食	アジア・ハイスクール・サミット		就業準備	就業	
10	8/3 (日)		朝食・掃除		書禅	遠増拓也	レポート	室伏きみ子	レポート	昼食	安田喜憲	レポート	夢 ディスカッション		HR	夕食	アジア・ハイスクール・サミット		就業準備	就業	
11	8/4 (月)		朝食・掃除		書禅	中村俊郎	レポート	ディスカッション		昼食	アジア・ハイスクール・サミット	小手川強二	みそ汁コンテスト		レポート	HR			就業準備	就業	
12	8/5 (火)		朝食・掃除		書禅	中澤宗幸 中澤きみ子		マハティール・モハマド	レポート	昼食	川勝平太	レポート	アジア・ハイスクール・サミット		HR	夕食	アジア・ハイスクール・サミット		就業準備	就業	
13	8/6 (水)		朝食・掃除		書禅	アジア・ハイスクール・サミット 発表・ふりかえり		昼食		榊原英資	レポート	目標宣言	ふりかえり	夕食	イベント	HR			就業準備	就業	
14	8/7 (木)		掃除	掃除確認	朝食	片づけ確認	卒業式	挨拶など	記念撮影	歓談	帰路へ										



アジア・ハイスクール・サミット 2014 「高校生が考えるアジアの未来」

日本の次世代リーダー養成塾では、一流の講師の先生方の講義を拝聴するだけでなく、さらに踏み込んで日本のあり方を具体的に議論してほしいとの思いから、2009年より「ハイスクール国会」を始めました。実在の国会で決定する国の政策は、地域を代表する国会議員が、自分の住む地域の問題を踏まえて、国会で論戦して法案を採決します。「ハイスクール国会」も同じように、全国から集まる高校生が、現在住んでいる地域を代表する「次世代の国会議員」の集まりです。

しかし、今年は、アジア6カ国（中国、インドネシア、マレーシア、モンゴル、タイ、韓国）から高校生を中心とした学生が参加します。そのため、例年の「ハイスクール国会」ではなく、より視野を広げた「アジア・ハイスクール・サミット」を開催します。

アジアの国々は、領土問題、歴史認識問題、エネルギー問題、貧困問題など複雑な問題を沢山抱えています。2015年、ASEAN 経済共同体（AEC）がスタートし、アジア域内の連携をより強くしていくことで、各国が強みを生かし、弱みを補完しあっていく動きが出てきます。「アジア・ハイスクール・サミット」では、最初に、現在アジアの国々がどのような問題を抱えているのかを整理し、議論します。まず、現状を知った上で、今後、それぞれの国が果たす役割は何か。また、一緒に取り組むと相乗効果が上がるような具体的ないいアイデアがないかを議論し、最後にはチームでそのアイデアを競い合います。

その上で、今回の「アジア・ハイスクール・サミット」を踏まえ、皆さん一人一人がアジアの国々の人たちと今後どう付き合っていくのか、自分の考えをしっかりとってほしいと思います。

国と国との課題を自分にも関わってくる問題としてとらえると、ニュースを見聞きするだけでは分からない、リーダーとしての苦労や喜びにも気づき、参加後は物事をより多角的に考えることができます。今回は、アジア各国の学生たちと、本音の議論ができる貴重な機会です。これからの日本やアジア、世界を考え、高校生らしい想像力と創造力で、とことん議論しましょう。

事前課題では、議論する上で最低限必要な、この度参加するアジア学生の国々についての事前知識を身につけてもらいます。塾本番では、事前に皆さんが事前調査した内容を仲間とも照らし合わせ、より深く議論をしていきます。

今、世界は、日本がアジアとどう向き合っていくのか、注目しています。新しい日本の「国のかたち」をつくりあげていくのは皆さん一人ひとりです。「アジア・ハイスクール・サミット」で大いにアジアの未来を語りましょう。

第11回日本の次世代リーダー養成塾 塾生概要

受講者総数 170名(男子67名・女子103名) 23都道府県3ヶ国(アメリカ・イギリス・フランス)

参画県推薦枠 105名 (男子41名・女子64名)

1	北海道	10名	(男子 3名)	(女子 7名)
2	青森県	12名	(男子 3名)	(女子 9名)
3	岩手県	9名	(男子 4名)	(女子 5名)
4	静岡県	10名	(男子 4名)	(女子 6名)
5	岐阜県	12名	(男子 5名)	(女子 7名)
6	和歌山県	10名	(男子 6名)	(女子 4名)
7	福岡県	28名	(男子 9名)	(女子 19名)
	うち)宗像市	4名	(男子 3名)	(女子 1名)
	うち)古賀市	2名	(男子 0名)	(女子 2名)
8	佐賀県	14名	(男子 7名)	(女子 7名)
計		105名	(男子 41名)	(女子 64名)

一般公募枠 65名 (男子26名・女子39名)

1	山形県	2名	(男子 1名)	(女子 1名)
2	福島県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
3	群馬県	2名	(男子 2名)	(女子 0名)
4	埼玉県	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
5	千葉県	4名	(男子 3名)	(女子 1名)
6	東京都	11名	(男子 1名)	(女子 10名)
7	神奈川県	11名	(男子 4名)	(女子 7名)
8	静岡県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
9	愛知県	2名	(男子 1名)	(女子 1名)
10	三重県	4名	(男子 3名)	(女子 1名)
11	大阪府	4名	(男子 1名)	(女子 3名)
12	兵庫県	2名	(男子 1名)	(女子 1名)
13	鳥取県	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
14	福岡県	5名	(男子 2名)	(女子 3名)
15	佐賀県	3名	(男子 0名)	(女子 3名)
16	大分県	3名	(男子 1名)	(女子 2名)
17	宮崎県	2名	(男子 0名)	(女子 2名)
18	沖縄県	2名	(男子 1名)	(女子 1名)
19	アメリカ	2名	(男子 2名)	(女子 0名)
20	イギリス	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
21	フランス	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
計		65名	(男子 26名)	(女子 39名)

第11回日本の次世代リーダー養成塾 塾生高校一覧

23都道府県3ヶ国(アメリカ・イギリス・フランス)、119校

学校所在地	学校名
北海道	北海道帯広柏葉高等学校
	北海道札幌国際情報高等学校
	北海道留萌高等学校
	私立遺愛女子高等学校
	私立とわの森三愛高等学校
青森県	私立立命館慶祥高等学校
	青森県立青森高等学校
	青森県立青森西高等学校
	青森県立青森南高等学校
	青森県立弘前高等学校
	青森県立八戸高等学校
	私立青森明の星高等学校
	私立青森山田高等学校
	私立八戸工業大学第二高等学校
	私立八戸聖ウルスラ学院高等学校
岩手県	岩手県立一関第一高等学校
	岩手県立岩泉高等学校
	岩手県立大船渡高等学校
	岩手県立金ヶ崎高等学校
	岩手県立西和賀高等学校
	岩手県立平舘高等学校
	盛岡市立高等学校
	山形県立左沢高等学校
山形県	私立東海大学山形高等学校
	福島県立白河高等学校
福島県	福島県立白河高等学校
群馬県	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
群馬県	私立共愛学園高等学校
	私立開智高等学校
埼玉県	私立市川高等学校
	私立暁星国際高等学校
	私立麗澤高等学校
東京都	東京都立富士高等学校
	私立学習院女子高等科
	私立共栄学園高等学校
	私立晃華学園高等学校
	私立品川女子学院高等部
	私立自由学園高等科
	私立昭和女子大学附属昭和高等学校
	私立目黒星美学園高等学校
	神奈川県立足柄高等学校
神奈川県	神奈川県立光陵高等学校
	私立サレジオ学院高等学校
	私立聖光学院高等学校
	私立洗足学園高等学校
	私立捜真女学校高等学部
	私立横須賀学院高等学校
	私立横浜雙葉高等部
	静岡県立科学技術高等学校
	静岡県
静岡県立清水東高等学校	
静岡県立沼津東高等学校	
静岡県立浜松北高等学校	
私立静岡学園高等学校	
岐阜県立各務原西高等学校	
岐阜県	岐阜県立加茂高等学校
	岐阜県立岐山高等学校
	岐阜県立岐阜高等学校
	岐阜県立岐阜農林高等学校
	岐阜県立関高等学校
	岐阜県立多治見北高等学校
	岐阜県立土岐商業高等学校
	私立聖マリア女学院高等学校
	私立麗澤瑞浪高等学校

学校所在地	学校名
愛知県	私立名古屋国際高等学校
	私立南山国際高等学校
三重県	三重県立松阪高等学校
	私立暁中学校・高等学校
	私立メリノール女子学院高等学校
大阪府	私立関西学院千里国際高等部
	私立明浄学院高等学校
和歌山県	和歌山県立星林高等学校
	私立開智高等学校
	私立智辯学園和歌山高等学校
兵庫県	私立近畿大学附属豊岡高等学校
	私立三田学園高等学校
鳥取県	鳥取県立鳥取西高等学校
福岡県	福岡県立ありあけ新世高等学校
	福岡県立育徳館高等学校
	福岡県立輝翔館中等教育学校
	福岡県立小倉高等学校
	福岡県立城南高等学校
	福岡県立東筑高等学校
	福岡県立福岡高等学校
	福岡県立福岡講倫館高等学校
	福岡県立宗像高等学校
	福岡県立門司学園高等学校
	福岡県立八女高等学校
	公立古賀寛成館高等学校
	国立久留米工業高等専門学校
	私立久留米大学附設高等学校
	私立西南学院高等学校
	私立筑紫女学園高等学校
	私立東海大学付属第五高等学校
	私立中村学園女子高等学校
	私立福岡海星女子学院高等学校
私立福岡大学附属大濠高等学校	
私立福岡雙葉高等学校	
私立明光学園高等学校	
私立八女学院高等学校	
佐賀県	佐賀県立伊万里高等学校
	佐賀県立唐津西高等学校
	佐賀県立唐津東高等学校
	佐賀県立佐賀西高等学校
	佐賀県立武雄高等学校
	佐賀県立致遠館高等学校
	私立弘学館高等学校
大分県	私立東明館高等学校
	私立早稲田佐賀高等学校
	大分県立大分上野丘高等学校
宮崎県	大分県立中津南高等学校
	大分県立別府鶴見丘高等学校
宮崎県	宮崎県立宮崎大宮高等学校
	宮崎県立宮崎南高等学校
沖縄県	沖縄県立普天間高等学校
	私立沖縄尚学高等学校
アメリカ	私立慶應義塾ニューヨーク学院
	Northfield Mount Hermon School
イギリス	England Somerset Wellington School
フランス	International school of Paris

第11回日本の次世代リーダー養成塾 サニックス・アジア奨学生概要

奨学生総数 17名 (男子9名・女子8名)

1	中国	4名	(男子 1名)	(女子 3名)
2	インドネシア	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
3	マレーシア	4名	(男子 2名)	(女子 2名)
4	モンゴル	2名	(男子 1名)	(女子 1名)
5	タイ	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
6	韓国	5名	(男子 4名)	(女子 1名)
計		17名	(男子 9名)	(女子 8名)

奨学生学校一覧(6ヶ国、11校)

学校所在地	
中国	成都外国語学校
	石家荘外国語学校
インドネシア	アークアカデミー
マレーシア	帝京マレーシア日本語学院
モンゴル	新モンゴル高等学校
タイ	名古屋市立名東高等学校
韓国	蓮堤高等学校 Yeonje High School
	釜山高等学校 Busan High School
	龍仁高等学校 Yongin High School
	華明高等学校 Hwamyeong High School
	釜山中央高等学校 Busan Jungang High School

主催者からのメッセージ

榊原定征 塾長（一般社団法人 日本経済団体連合会 会長）

世界から信頼され豊かで活力溢れる国を実現することが、日本の目指すべき未来だと思います。そのためには、技術革新はもとより、政治、経済、社会など、国民生活全般にわたるイノベーションを進め、旧来の制度や慣行に捉われず、新しい変革を起こしていく必要があります。同時に、グローバル化の中で、日本の強みを世界に積極的に発信するとともに、海外の活力を取り込んでいくことが重要となっています。



これらは、若きリーダーの存在と活躍抜きには成し得ません。日本、そして世界を舞台に活躍する若者が「新しい日本を創り、世界に挑戦する」との強い気概を持ち、困難にも果敢に挑むことで、日本の進むべき道が切り開かれていくものと確信しています。

次代を担う高校生の皆さんには、本塾で、同じ志を持つ仲間と切磋琢磨し、教養を深め、視野を広げ、様々な課題に真正面から取り組んでいただきたいと思います。そして、未来を担うリーダーとしての強固な礎を構築されることを心より願っております。

「日本の次世代リーダー養成塾」役員等名簿

（五十音順）

塾長	榊原 定征 / 一般社団法人日本経済団体連合会会長
塾長代理	榊原 英資 / 青山学院大学教授
筆頭理事	小川 洋 / 福岡県知事
理事	浅野 史郎 / 神奈川大学特別招聘教授
理事	麻生 渡 / 前全国知事会会長・福岡空港ビルディング株式会社社長
（顧問兼務）	
理事	石原 進 / 九州旅客鉄道株式会社相談役
理事	榎本 一彦 / 福岡地所株式会社代表取締役会長
理事	大竹 美喜 / アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社）創業者・最高顧問
理事	金澤 一郎 / 国際医療福祉大学大学院長・東京大学名誉教授
理事	川勝 平太 / 静岡県知事
理事	小島 順彦 / 三菱商事株式会社取締役会長
理事	高橋 温 / 三井住友信託銀行株式会社相談役
理事	高橋 はるみ / 北海道知事
理事	達増 拓也 / 岩手県知事
理事	谷井 博美 / 福岡県宗像市長
理事	張 富士夫 / トヨタ自動車株式会社名誉会長
理事	仁坂 吉伸 / 和歌山県知事
理事	橋田 紘一 / 株式会社九電工取締役相談役
理事	古川 康 / 佐賀県知事
理事	古田 肇 / 岐阜県知事
理事	松尾 新吾 / 九州電力株式会社相談役
理事	溝上 泰弘 / 株式会社ミズ代表取締役会長
理事	三村 申吾 / 青森県知事
理事	宗政 伸一 / 株式会社サニックス代表取締役社長
理事	加藤 暁子
（事務局長兼務）	
監事	薬真寺 偉臣 / 九州電力株式会社取締役常務執行役員